

至徳

射水市立金山小学校

学校だより

令和元年6月25日

No. 10



○ ゴールデンスポーツタイム開始!!【6月17日(月)】

今年度、体づくりの重点目標として、「進んで体を使った遊びや運動をする子供たちの達成度80%以上」を目指しています。そのための方策の一つとして、全校で運動する時間を設定しました。(ゴールドスポーツタイム)保健・体育委員会が中心となり、月に2、3回程度全校児童で休み時間に、運動する時間を取り入れます。このような活動を通して、体を動かすことを楽しみ、心身ともに健康な子供の育成に努めていきたいと思えます。

第1回目として、6月17日(月)の長休み時間、体育館で全校が集まり「どろけい(鬼ごっこ)」をしました。終わった後には「みんなと一緒に遊べて楽しかった」というたくさんの声とともに、「みんなと遊ぶ機会がないので、今までよりももっと仲が深まりました」「また、一緒に遊びたい」という声も聞かれました。体づくりと共に、よさを認め合い思いやりの心で協力し合う姿にもつながっていきたいです。



○ 生き物が一杯 前川用水探検【6月18日(火)】

3年生は、学習支援講師の山下ちか子先生と「海・川の森づくりアドバイザー」の金子芳治さん、田村正次さんと一緒に前川用水の生き物探しに出かけました。カワニナ、シジミ、ヒル、ザリガニ、オタマジャクシ、カエル、ヤゴ(シオカラトンボやオニヤンマ)等々の様々な生き物をわずかな時間で捕まえることができました。また、前川用水の隣にある水田の苗に、孵化したアキアカネをたくさん見ることもできました。「前川用水にいろいろな生き物があるのを初めて知りました」「すくってみたら予想以上にいっぱい生き物がいたので、他にも生き物があるのかまた見に行きたいです」「たくさんの生き物を捕ま



えることができうれしかったです」など金山の豊かな自然を感じた時間でした。このような素敵なふるさとがあることに気づき、この金山を大切に思う心に繋げていきたいと思えます。

○ ブラインドサッカーに挑戦【6月18日（火）】

日本ブラインドサッカー協会（東京）の小島雄登さん、辻一幸さん（視覚障がいのある方）を講師に迎えブラインドサッカーの体験教室を行いました。ブラインドサッカーはアイマスクをして音のなるボールを使ってプレーします。子供たちは、まず二人一組になり準備運動から始めました。一人がアイマスクをして運動をします。もう一人は、師範で示された運動を見てアイマスクをしている友達に伝えます。はじめは、「こうやってよ」「そんなこと言っても、どうするの。分からない」「なぜ分かってくれない」「もっとしっかり教えてよ」と2人の思いがすれ違い、なかなか伝えきれませんでした。講師の先生からは「相手のことを思いやることが大切です」と教えてもらいました。そうやっていくうちに「万歳してみて。そこからクロールするように回してみて。そうそう、いいよ」などと相手にどうやったら分かってもらえるか一生懸命に考え、また、認め合う優しい言葉も出始めました。

準備運動の後、色団に分かれての活動です。シュートする人はアイマスクし、そのほかの人は足元にボールを置く人、コーンをたたいたり、手をたたいたりしてゴールの場所を教える役に分かれ、コーンとコーンの間にボールを通すことができれば得点やコーンに当てたら得点等のゲームにチャレンジしました。子供たちからは、「こっちだよ」「いいね」「おいしい」「やったね」「すごいよ」「だいじょうぶ」など友達を励ます言葉、失敗しても責めることなく思いやる言葉がたくさん出てきました。そして、どの子の顔にも笑顔が見られました。

- ・目が見えなくても、サッカーをできてすごいな。
- ・ブラインドサッカーは難しいと思ったけれど、やってみたら楽しかったです。
- ・ブラインドサッカーの好きな所は、チームです。
- ・相手がどうしたら助かるかを考えてするとブラインドサッカーは楽しいと分かりました。

障がいのある方への理解とともに、コミュニケーションや思いやりをもって関わることの大切さについて目を向けてくれたように感じます。とても素敵な時間となりました。



